

第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の延長について

1. 期間延長の趣旨

○現行の「第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間となっている。

○このような中、国では令和4年12月、これまでの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、市町村に対しても、国や府の総合戦略を十分に勘案した上で、地方版総合戦略を新たに策定する必要性を示していた。令和6年11月には「新しい地方経済・生活環境創生本部」が設置され、これまでの人口減少対策をさらに推進させる考え方が示された。

○そうしたことを受け、大阪府では、令和7年4月を始期とする第3期総合戦略を策定する方針を示していたことから、本市においても、国や府の総合戦略との整合を図るため、令和7年4月に次期総合戦略を策定することとしていた。

○具体的には、まち・ひと・しごと創生（＝人口減少対策）には、特定の部署だけの取組ではなく、組織横断的な取組が必要であることから、市長・副市長・全部長級職員で構成するまち・ひと・しごと創生本部会議を開催するとともに、人口減少対策の施策立案・調整・統計データの収集などを行ってきた。

(R6.4月：戦略改訂の方向性決定、R6.5月：素案作成及び報告、R6.6月：全庁に事業募集、R6.5月～9月：前年度事業効果検証、R6.10月：高校生・児童生徒の保護者・全市民に対するアンケート調査実施。※その間、本部会議は計2回開催し、報告と新総合戦略の方向性と事業について検討を行う。)

○しかし、令和6年11月に開催された第3回まち・ひと・しごと創生本部会議において、次期総合戦略を効果的なものとするためにも、もっと時間をかけて考える必要があるのではないかとの意見が出された。そのため、令和6年12月にあらためて全庁へ意見照会を行ったが、総合戦略の方向性や取組について庁内各部署の横断的な連携の調整等を丁寧かつ時間をかけて行っていく必要が生じたため、現行の「第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間を1年間延長することを決定した。令和7年度に引き続き新総合戦略の策定作業を進め、令和8年3月の策定を目指すこととする。

※内閣府の地方創生関連交付金を活用する場合には、当該施策・事業が地方版総合戦略に位置付けられていることが要件となっており、令和7年度以降も継続して交付金を受けるためには、総合戦略を切れ目なく策定していくことが必要。現行の国のデジタル田園都市国家構想総合戦略が令和6年12月に示された新たな地方創生2.0の方針を受け、基本構想の改定作業を行い、令和7年夏ごろに改定案が示される予定となっており、国の動向を踏まえ、本市の次期総合戦略の改定作業を進めることとなる。

2. 期間延長に伴う総合戦略の見直しについて

(1) 基本的な考え方、今後の施策の方向について

基本的には現行の内容を据え置くこととする。

(2) 数値目標・KPI について

○数値目標・KPI については、基本的には方向性を引き継ぎ、期間延長分の目標値を再設定（令和7年時点）することを前提とする。

○新たな数値目標・KPI の設定については、原則令和8年度からの次期戦略で行うこととする。

3. 今後のスケジュール

令和7年3月	✓第2期総合戦略の計画期間を延長することについて、泉南市まち・ひと・しごと総合戦略推進委員会委員へ報告 ✓第2期総合戦略を改訂・公表
令和8年3月	✓「泉南市未来都市創生総合戦略」を策定予定

4. 計画期間延長に伴う指標改訂箇所

数値目標

頁	指標	基準値 【平成30年度】	目標値 【令和6年度】	目標値 【令和7年度】	再設定理由
15	平日滞在人口率 休日滞在人口率	0.98 1.06	1.06 1.15	1.06 1.108	総計実施計画との整合
21	人口の社会増減	-426人	-213人	-213人	継続
29	自主防災組織率 犯罪認知件数	62.2% 549件	80% 467件	68.0% 300件	総計実施計画との整合
33	健康寿命 平均寿命	男性 77.65歳 女性 80.91歳 男性 79.9歳 女性 86.7歳	男性 78.11歳 女性 82.52歳 男性 80.23歳 女性 86.73歳	男性 79.32歳 女性 83.85歳 男性 80.23歳 女性 86.73歳	総計実施計画との整合

KPI 指標

頁	指標	基準値 【平成 30 年 度】	目標値 【令和 6 年 度】	目標値 【令和 7 年度】	再設定理由
17	産官学連携により創造したせんなんブランド数	－	2 件	4 件	上方修正
〃	婚活イベントにおけるマッチング数	－	50 組	－	事業化していないため。
〃	市ウェブサイト利用者数（閲覧件数）	190,735 件	210,000 件	210,000 件	継続
〃	リノベーションまちづくり構想に関連した事業化数	－	3 件	－	事業化していないため。
19	サザンビーチ来場者数	19,231 人	600,000 人	1,000,000 人	上方修正
〃	投資企業数	－	1 社	1 社	継続
〃	緊急ステーション整備数	－	1 箇所	－	事業化していないため。
〃	国際交流員の雇用数	－	1 人	3 人	上方修正
〃	業務提携都市数	－	1 都市	1 都市	継続
24	子どもオンブズパーソン会議	－	60 回	120 回	上方修正
〃	ゆうてみいサポーター養成講座	－	60 回	70 回	上方修正
〃	ゆうてみいサポーターのネットワーク会議	－	15 回	18 回	上方修正
〃	ゲートキーパー養成研修参加者数	70 人	350 人	350 人	継続
〃	子ども向け相談	600 枚	3000 枚	11,000 枚	上方修正

頁	指標	基準値 【平成 30 年 度】	目標値 【令和 6 年 度】	目標値 【令和 7 年度】	再設定理由
	窓口リーフレットの配布枚数				
〃	子ども若者支援 地域協議会	－	10 回	10 回	継続
〃	子育て応援団の 拡充	31 人	50 人	50 人	継続
〃	小さな拠点機能 等の整備	－	10 件	11 件	上方修正
〃	子ども相談員の 数	－	50 人	50 人	継続
〃	地域応援体制の 構築	－	10 件	10 件	継続
〃	農業体験者数	－	250 人	250 人	継続
〃	漁業体験者数	－	250 人	250 人	継続
〃	農業体験受入れ 地域数	－	3 地域	3 地域	継続
〃	子どもの権利条 例について知っ ている保護者の 割合	48.8%	53.8%	－	効果測定の手 法が確立して いないため。
25	全国学力・学習 状況調査で得ら れる数値	府平均値との 差-10	±0	±0	継続
〃	放課後授業を実 施する学校数	75%	100%	100%	継続
〃	民間団体におけ る支援活動数	－	5 件	150 件	上方修正
〃	JET プログラム を活用した外国 人相談件数	－	10 件	15 件	上方修正
〃	国際交流団体の 数	－	1 団体	－	事業化してい ないため。

頁	指標	基準値 【平成 30 年 度】	目標値 【令和 6 年 度】	目標値 【令和 7 年度】	再設定理由
27	三世代同居・近 居を支援するた めの固定資産税 軽減措置件数	40 件	75 件	75 件	継続
31	避難所生活者用 食糧	17,375 食/年	20,661 食/年	20,661 食/年	継続
〃	自主防災組織が 組織されている 地域の世帯数	16,137 世帯/年	17,637 世帯/ 年	17,637 世帯/年	継続
〃	消防団機能の充 実強化	100%	100%	100%	継続
〃	防災協定締結市 町村数	1	2	2	継続
32	防犯カメラの設 置	64 台	94 台	142 台	上方修正
〃	防犯カメラの設 置経費助成	27 台	37 台	37 台	継続
35	既存体育施設 数、利用者数	6 か 所 /108,574 人	786,000 人	400,000 人	下方修正
〃	スポーツ合宿宿 泊者数	－	12,000 人	12,000 人	継続
〃	スポーツポータ ルサイトアクセ ス数	－	60,000 人	12,000 人	下方修正
〃	レンタルバイク 使用人数	－	6,000 人	－	事業化して いないた め。
〃	公共施設支払い キャッシュレス 件数	－	60,000 人	100 人	下方修正
〃	スポーツ合宿誘 致数	－	80 件	－	－
〃	市内で行われた	2,121 人	15,000 人	7,000 人	下方修正

頁	指標	基準値 【平成 30 年 度】	目標値 【令和 6 年 度】	目標値 【令和 7 年度】	再設定理由
	スポーツイベ ント数と参加者数				
〃	トップアスリー ト雇用者数	－	3 人	－	事業化して いないため。
〃	トップアスリー トによる健康づ くり講座開催 数・参加者数	－	600 人	600 人	継続
〃	夢の教室の実施 回数・参加者数	8 教室/299 人	80 教室/1,350 人	15 教室/500 人	下方修正